

平成27年度第2回新潟市男女平等教育推進研究会概要

1 日 時 平成28年1月19日（火） 15:00～16:30

2 場 所 新潟市役所白山浦庁舎1号棟2階 教育会議室1

3 出席者

(1) 委員（五十音順）

相庭 和彦	新潟大学教育学部 教授
岩崎 正法	新潟市立亀田中学校 教諭
真田 裕子	新潟市男女共同参画課 課長
須佐 一彦	新潟市立白根小学校 校長
竹内 滋之	新潟市立小針中学校 教諭
竹之内佳子	新潟市立金津中学校 校長
玉木 浩	新潟市立白根北中学校 校長
中島 伸子	新潟大学教育学部 准教授
西塚 朋子	新潟市立女池小学校 教諭
畠山 典子	新潟市立関屋小学校 校長
樋口 玲子	にいがた女性会議 委員

(2) 事務局

保科賢一郎	学校支援課総括指導主事
齊藤 裕子	学校支援課指導主事

4 会議内容

(1) 開会

総括指導主事

12月15日に秋葉区文化会館で開催された「男女平等教育研修会」に委員の皆様から御出席いただきましてありがとうございました。また、真田委員・西塚委員・岩崎委員からは、行政説明と実践発表をしていただきまして本当にありがとうございました。参加者から「とても参考になる研修会であった」という高い評価を得ました。この研修会の成果を生かして、学校における男女平等教育が今後一層推進されることと思います。

これまでの当研究会の取組に支えられ、本年度も、各校がそれぞれに男女平等教育に取り組んできました。現在、活用状況や年間指導計画への位置付けについての集計をしています。第2次新潟市男女共同参画行動計画の評価指標に近づけるものと思われま。

学校に届ける「学習資料」及び「活用の手引」は、皆様のお力添えにより、今の時代に合った充実した学習資料であると自信をもっています。本日は、平成28年度用の「学習資料」と「活用の手引」についてご審議いただきます。皆様の貴重なご意見をお寄せください。本日はよろしく願いいたします。

(2) 会長あいさつ

このごろ常々思っていることを紹介してあいさつとさせていただきたいと思います。大学生を預かっていて感じることです。小学校や中学校で男女平等教育を行っているにもかかわらず、大学生になると女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしくなるのが不思議です。男女平等教育がなぜ浸透しないのだろうかと考えたときに、自己実現、「私にとって」と考える主語が十分ではないように思います。

12月15日の男女平等教育研修会の実践発表は、とてもすばらしかったと思います。水準の高い定着が課題です。これからも強力に推進していく必要があります。生産的な議論がたくさん行われますよう、お願いします。

(3) 報告・協議

①男女平等教育研修会の成果について

(アンケート結果の報告 事務局)

研修会全体に関して、「参考になった」という肯定的な評価が、100%でした。男女平等教育の重要性に対する認識が高まったこと、学習資料の活用について理解が深まったことが大きな成果です。

それぞれの内容についても、「参考になった」という肯定的な評価がとても高かったです。「新潟市男女共同参画行動計画と学校における男女平等教育の推進について」では、「国の動向・新潟市の施策・新潟市教育ビジョンの関係がよくわかり、それらを受けて学校でどのように男女平等教育を推進していったらよいかについて理解が深まった」という意見がたくさんありました。講演「ユニバーサルデザインとしての男女平等教育」では、「男女平等教育の背景や歴史がよくわかり、学校におけるジェンダーについての理解が深まった」「教師自身ももっと意識しなければいけない」という意見がありました。実践発表については、「自分の学校でも実践したい」「学習資料をどのように活用したらよいか分かった。」「今の教育活動を男女平等教育の視点で見直すことが大切だと思った。」等、これからのつながる意見がたくさんありました。

その他に、中学校区で情報交換をしたことも有意義であったという意見がたくさんありました。「同じ校種でどのような指導をしているか知ることができた。」という意見の他に、「小学校と中学校で連携して、一貫した指導をしていくことが大切だと思った。」という意見もありました。

皆様のご協力のおかげで、研修会は大きな成果をあげることができました。本当にありがとうございました。今回の研修会の成果を生かして、今後の学校における男女平等教育を推進していきます。

(研修会に関する委員の意見要旨)

◇先生方が男女平等教育に一生懸命に取り組んでいることがわかった。また、学習資料がどのように活用されるのかということについてもよくわかった。感謝と敬意を表したい。とてもよい研修なので、毎年継続的に取り組んでもらいたい。

◇情報交換がとてもよかった。時間をもっとほしかった。発表は、どちらも学校ぐるみで熱心に取り組んでいて、とてもすばらしかった。研修会の内容について職員に伝達したが、このような研修会があるだけで、職員の意識が大きく違う。学校での授業にも早速生かされ、職員の意識が高まったと思う。

◇情報交換の時間があったが、先生方が入ってワークショップのような討論の時間があったのもよかった。実践発表について、それが本当によかったのかどうか、平等論について討論することもよいと思う。

◇実践発表では、今あることを大切にしてその中に男女平等の視点をどのように取り入れていくかということ伝えてきたかった。先生方の見方や思いが変わることが大切だと思う。これからも続けていくことが大きな課題であると感じている。

◇実践発表をして、学校の職員の意識が変わった。行動連携が深まっている。何もしなければ何も変わらない。成果と課題を踏まえ、生徒の感覚が育つように、情報を共有しながら取り組んでいきたい。

②平成28年度用「学習資料」「活用の手引き」について (事務局より)

今までは、印刷したものを配付してきましたが、平成28年度からは予算の関係で、各学校へのデータ配信とさせていただきたいと思えます。各学校で印刷をして、実践をしてもらおう予定にしています。

今までの「学習資料」と「活用の手引き」に加え、「事前・事後の意識調査」も配信したいと考えています。全部しなければならないというものでなく、選んで使うというものです。学習資料の活用調査に加え、各学校から児童生徒の意識の変容についても報告してもらおうことを考えています。データ配信にするということも踏まえ、現行の「学習資料」「活用の手引き」の内容の改訂について、ご意見をいただければと思えます。

(協議 委員の発言要旨)

小学校6年生用学習資料

◇4ページ 「わたしのゆめ」で紹介している人について

- ・近況について確認し、更新が必要であれば更新する。

中学校2年生用学習資料

◇1ページ 「男女の地位の平等感」のグラフについて

- ・男性の数値の処理について、調整する。

◇2ページ 「自分らしい生き方を選んだ人々」で紹介している人について

- ・近況について確認し、更新が必要であれば更新する。

◇3 ページ 「日本の夫婦の生活時間という考え方」のグラフについて

- ・基になっているデータが平成18年度に調査したものなので古くなっている。
- ・調査項目は少し異なるが、新潟市で平成26年度に調査したグラフを掲載してはどうか。
- ・グラフのタイトルは、「日本の夫婦の生活時間という考え方」ではなく、「日本の夫婦の生活時間」である。

◇3 ページ 「育児期にある夫の1日の育児、家事時間の国際比較」について

- ・アメリカの数値が変わっているなので、新しい数値にする。
- ・数値とグラフの長さが合っていないところがあるので、確認して修正する。

◇4 ページ 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」国際比較グラフについて

- ・国際比較ができる点はよいが、データが古い。
- ・内閣府が出している「固定的な性別役割分担意識」の経年変化のグラフに変更してはどうか。3ページのグラフで国際比較ができる。「平成14年以降に意識が変化していないのはなぜか」について考えさせるとよい。

デートDVの取扱いについて

◇中学校において、男女交際やデートDVはそれほど多くない。しかし、困ったり悩んだりしている生徒もいる。情報としては、発達段階に合わせて、何らかの形で知っておくべきである。

◇自己肯定感が低い生徒が多い。「自分は大切な存在だ」ということを意識させるため、人権教育から取り組む方法があり、生徒にとって必要な指導だと考える。発達段階を踏まえ、性教育や道徳教育で指導することも可能である。

◇20政令指定都市の中でデートDVの資料を作成しているのは4市である。どの分野で扱うかは別として、指導が必要であるという意識が高まっている。

◇教員でもデートDVを知らない教員が多い。デートDVに巻き込まれてからでは遅い。データ配信になるのであれば、すぐにではないが、資料を配信して必要な人が使うことも可能である。デートDVについて、情報として届けることが大切である。他県の資料で役に立つものがあればアドレスも含めて紹介し、必要な人がアクセスできるようにするとよい。

事前・事後アンケートの配信について

◇アンケートの語尾が揃っていない設問がある。児童生徒の心情面を聞く形の語尾にそろえるとよい。必ず実施して報告するというのではなく、必要に応じて使う形がよい。

◇男女平等教育研修会の中学校の実践発表で、生徒の意識の変化がわかってとてもよかった。指導者としては、分かりやすく、よいと思う。各学校で考えて使うとよい。

その他

◇データ配信になるのであれば、見開き4ページという枠もなくなるので、必要に応じて資料を追加することもできる。A4サイズで、必要な部分を印刷できるようにしてほしい。

◇中学校は2年生用が配られていた。データ配信になれば、2年生にこだわらず、各学校の指導計画に基づいて必要な学年で必要な部分を使うようにしたい。1年生で職場体験を行う際に関係のあるページを活用したい。アンケートも、学年にこだわらずに使えると扱いやすい。

◇小学校3年生の学習資料には、カラーでないと分かりにくい資料がある。また、持ち物や服装の色などもとても重要である。データ配信で各学校で印刷することになれば、白黒印刷をして児童生徒に配付する学校が多いと思う。配信されたデータを教室のテレビで、カラーで映せるようにしてほしい。また、指導上の留意点にも「色」を入れてほしい。

(4) 副会長あいさつ

学校の中で学習資料をうまく活用するにはどうしたらよいかを考えるときに、現場の細かい様子を知っていないといけないといつも思います。また今後も、いろいろなことを話しながら勉強させていただきたいと思っております。よろしく願いいたします。